

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備			事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)				
市町村名	栄村		ふりがな箇所名	ひしがわ 東川		うえやま 上山		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H26 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=58.5m					H22年度事業進捗率		0.0%			
	H23年度以降実施内容		同上					本工事費等ベース		0.0%			
	H23年度実施内容		地形等測量 1式、地質調査 1式、詳細設計 1式					用地補償費ベース		0.0%			
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残		
事業費計(千円)		300,000		0		0		15,000		300,000			
財源内訳	国庫支出金		150,000		0		0		10,000		150,000		
	その他										0		
	県債		135,000		0		0		4,000		135,000		
	一般財源		15,000		0		0		1,000		15,000		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課			
								ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		A	10	A	10
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			6		6
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り			一般施設有り		なし			0		0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり			なし					1		1
	小計									17		17	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上			災害履歴値		なし		A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5		5
	小計									15		15	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上			B/C1.0以上1.5未満		B/C1.0未満		A	15	A	15
		早期発現度	5年未満			5年以上10年未満		10年以上			4		4
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり			検討なし					0		0
	小計									19		19	
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形			地質が脆弱		その他		A	5	A	5
		植生の状況	無林地や倒木が多い			放置林		その他			3		3
		平均渓床勾配	10度以上			2度以上10度未満		2度未満			5		5
		土砂整備率	0%			0%より大50%未満		50%以上			7		7
	小計									20		20	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		B	6	B	6	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			4		4	
小計									13		13		
費用対効果(B/C)		3.99			評価の合計				A	84	A	84	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本溪流は土石流危険溪流であり、豪雨時で急激に流量が増すと不安定土砂が土石流となって流下しやすい状況にある。このため平成17年8月16日の豪雨では土石流が発生して農地が被災し、荒廃や不安定土石の堆砂が一層進んだものの、現在直接的な砂防施設は全く、下流域の(国)117号とJR飯山線及び人家17戸は非常に危険な状態にさらされている。											
	地域からの要望経緯	平成17年8月16日の豪雨では土石流が発生して溪流下流部の農地が被災し、荒廃や不安定土石の堆砂が一層進んだことから、豪雨時に河水があふれ土砂が流入したり畔や法面が崩壊するため、平成20年10月に栄村を通じて地元からその対策を要望されている。											
	事業説明等の経緯	H22.10月に栄村に事業説明会を実施。											
	環境・景観への配慮項目	極力周辺環境に負荷を与えないような構造物設計、工事施工とする。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
特記事項	今後も地域住民との意見交換会等による意見を聞きながら、地域の嘆願である当該事業の計画を進めたい。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	本溪流は荒廃状況が著しい一方、砂防及び直接的な治山施設が無く、また保全対象として重要度が高い緊急輸送路の(国)117号やJR線があり、必要性、重要性、緊急性ともに高い。					政策評価課見		重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。					